

おわりに

今回、検討会において、その人らしい暮らしの場へ帰るために、病院と在宅チームが目指すべき姿や具体的に何をすべきか、退院後の疾患の再発・重度化防止のために必要なことを、工程表とその解説という形でとりまとめた。

今後は、この手引きにより導かれた、病院と地域が連携・協働する入退院支援を、理念だけで終わらせず、実際にそれぞれの地域の病院と在宅チームによって実践されなくてはならない。入退院支援に関わる病院関係者と地域の在宅多職種関係者により、地域における切れ目のない医療介護連携体制の構築、医療・介護関係者の相互理解の向上が図られるよう、本手引きの普及展開が求められる。

また、退院後、在宅療養期において、疾患ごとの特性も踏まえた再発・重度化予防、看取りに至るまでの多職種連携やマネジメントの在り方については、今回の手引きでは言及していないが、今後、こういったことも検討していく必要がある。